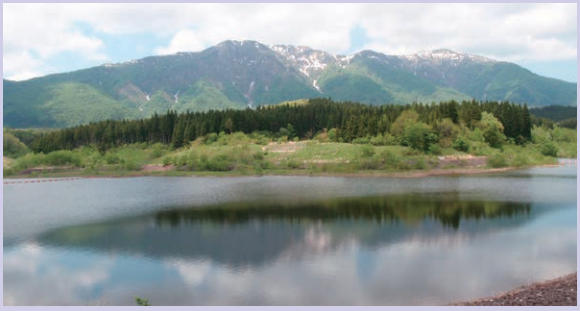
ヤマユリ

かみおおさわ 上大沢ダム



▲新緑の禿岳とかむろ湖

北上川水系大沢川は、禿岳（かむろだけ）にその源を発し禿高原を南流し、途中、上大沢川、田沢川を合流し、鬼首地区の南で江合川に合流する流域面積 21.6 ㎢、流路延長３㎞の一級河川です。

大沢川は山岳に近いため古くからたびたび局地的･突発的な洪水が発生しており､昭和２２年（１９４７年）９月のカスリン台風、昭和２３年（１９４８年）９月のアイオン台風､昭和４９年（１９７４年）７月の台風８号などの出水で多大な被害を受けています。また、当時、鬼首地区の大規模リゾート計画により水需要が急激に伸びることが想定されていました。

上大沢ダムは、このような経緯から、洪水調節と水道用水の供給を目的として建設された多目的ダムであり、昭和５９年（１９８４年）の江合川総合開発事業調査開始以来、２０年の歳月と７５億円の工事費をかけて平成１６年（２００４年）３月に完成しました。

■ダムの目的

洪水調節【F】

上大沢ダム地点における計画高水流量７０m³/s（田沢川からの導水量３６m³/s を含む）のうち５０m³/s の洪水調節を行うことにより、上大沢ダムや田沢川分流工下流の水害を防止します。

上水道用水【W】

鳴子温泉鬼首地区の水道用水として、１,５００m³/ 日を確保します。

ダム諸元

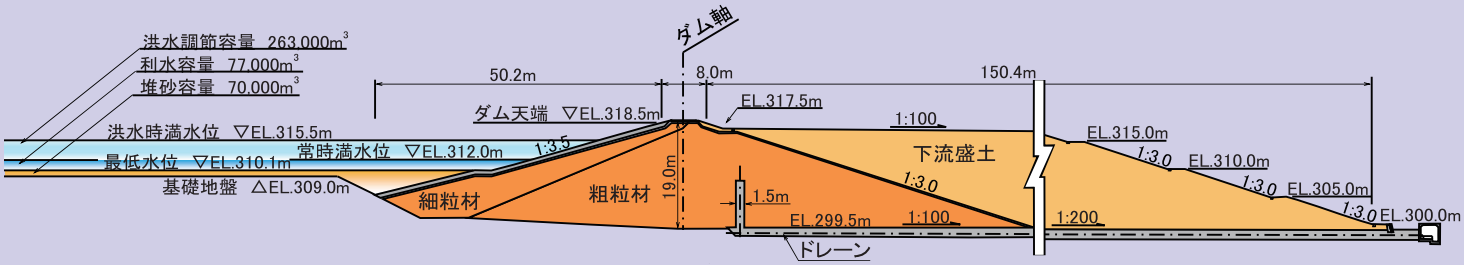
河川名：一級河川北上川水系上大沢川
所在地：大崎市鳴子温泉鬼首字三杉
完　成：平成16年（2004年）3月
形　式：アースフィルダム
堤　高：　19．0m
堤頂長：228．5m
堤体積：　　202千m³
総貯水容量：　410千m³
洪水調節容量：263千m³
利水容量：　　77千m³

コラム

上大沢ダムは間接流域を持つダムで、本来流域ではない田沢川の洪水の一部を分流工により導水し、田沢川下流及びダム下流の氾濫を防止します。分流工は洪水等により田沢川の流量が増え、一定の水位を超えると上大沢ダムに導水される構造となっています。

▲分流工と導水路

▲取水放流管



▲標準断面図